

■2021プランによせて■

大関には、福祉、教育、防災、防犯、健康、環境、その他様々な分野で活動している個人や地域団体の存在があります。そして、未来の社会を生きる大切な次世代がいます。これらは、全て大関の宝ものです。

力を合わせて大関のこれからを次世代につないでいくために、2回シリーズで「2021大関助け合いのまちづくりプランワークショップ」を開催し、計画を作りました。

みんなで力を合わせて計画を実現していきましょう。



# やっぱりいいなあ 大関

## 第二次 2021 大関助け合いのまちづくりプラン

# やってみたいプランに手をあげてみよう！

◎小・中学生、地域団体や個人が集まり、延べ111名が熱心に話し合いました。

### 参加のルールを決めました。

- ・みんなで認め合って、目と耳と心で聴く
- ・意見を否定、批判しない
- ・全部の意見に、いいね！する
- ・子どもの目線で聞く
- ・今日は、話を楽しむ！
- ・友達のような感覚で話す
- ・相手の目を見て、うなづきながら聞く
- ・いろんな意見があることを理解する
- ・わからないことは聞く
- ・笑顔で話を聴く
- ・無理強いしない

### 大関の大好きなところ！

- ・人がやさしいところ
- ・笑顔であたかく受け入れてくれるところ
- ・地域の人が仲がよいところ
- ・みんなが協力するところ
- ・中学校に行ってもあいさつができる
- ・地区外から来た人にもやさしく、差別がない
- ・子育てしやすい
- ・子どもが元気いっぱい、楽しそう
- ・地域と子どもが近い
- ・子どもを大事にしているところ
- ・年齢を問わず、みんながつながっている
- ・年配の人が素朴
- ・お祭り
- ・地域で活動しているところがいい
- ・コミセンが大好き
- ・あいさつロードがある
- ・えちてつが走っている
- ・ぜんぶ好き



# プラン一覧

このプランは、ダイヤモンドランキングという手法を用いて、グループごとに考えました。実現しやすいものから順番に、みんなで協力して実践していきましょう。また、これらのプランをヒントに、いろいろなアイデアを考えてみませんか。

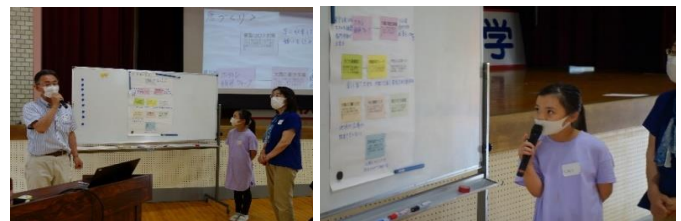
## 1. 地域福祉



<b>子どもカフェ企画</b> カフェの一部を子どもと一緒に企画して運営できるしくみを作る。 例) 駄菓子屋さん	<b>やさしいスポーツ</b> 高齢者や障害者の方と一緒に無理なくできる簡単な体操を考案し、交流する。 例) ふうせんバレー	<b>お宝発見!</b> いろいろな方の「得意」を掘り起こして、発表する。ハーモニカ、郷土料理etc.	<b>大関のお祭り</b> 地区内のいろいろな施設の方々と一緒に、大関の祭りをつくりあげる。
<b>ダイバーシティ! (多様性の共生)</b> 地域で暮らす外国籍の人達と交流し、悩みや問題がないかを聞いて一緒に考える。	<b>畑と子ども食堂</b> 大人と子どもと一緒に畑で野菜を作り、子ども食堂で地産地消を生かした栄養満点の料理を作る。	<b>HUG研修</b> 避難所運営ゲームを毎年開催し、年齢や障害の有無に関わらず、参加できるようにする。	<b>一緒にバリア探検</b> 車椅子などからだの不自由な人と一緒にまちを歩き、危険やバリアをチェックする。
<b>ゴミ探検の輪</b> 高齢者や障害者の方と一緒にゴミ探検を行い、交流を通して理解を深める。	<b>身近な人の安全</b> 災害時にどのように避難するのか、一人暮らしの方々の避難や安否確認方法を考える。	<b>カフェ企画</b> カフェの一部を高齢者や障害者の方々が企画して運営できるしくみを作る。	<b>子ども福祉委員</b> 子どもが民生委員と一緒に、高齢者や障害者の方々のところへ訪問したり文通をして交流する。

<b>新型コロナ対策</b> コロナ禍でなまった体やメンタルの調査をして、家や地域でできることを提案する。	<b>ホタル観察ウォーク</b> 星空を見ながらホタルを観察。ウォーキングしながら移動する。	<b>ニュースポーツ</b> 年齢を超えて誰もが気軽に参加できるいろいろなニュースポーツにチャレンジする。
<b>子ども健康隊</b> 子どもが中心となり、家や地域でできる健康づくりメニューを考えポスター・チラシを作り配布する。	<b>問題発見ウォーク</b> みんなでウォーキングしながら、まちの危険箇所発見やゴミのポイ捨て発見をする。	<b>スポーツで交流</b> 高齢者や障害者の方と一緒に無理なくできる簡単な体操を考案し、交流する。
<b>夕暮れ&amp;星空ヨガ</b> 夕暮れのサンセットヨガや体操、星空観察会に合わせておやすみヨガなどを楽しむ。	<b>旬の健康づくり</b> 空いている畑を借りて、旬の野菜を育て、からだに良い季節の料理教室を開く。	<b>畑と子ども食堂</b> 大人と子どもと一緒に畑で野菜を作り、子ども食堂で地産地消を生かした栄養満点の料理を作る。

## 2. 健康づくり



## 3. 防災



<b>学校deキャンプ</b> 第2回学校deキャンプの企画を無理なくできる範囲で考え、PTAと一緒に実現する。	<b>区防災支援</b> 各区の防災活動をよりよいものにするための研修WSを開催し、地区に持ち帰る。	<b>子ども防災隊</b> 子どもが中心となり、日頃から防災を意識できるようにポスター・チラシなどを作成し各戸配布する。
<b>家の防災チェック</b> 家庭の防災用品のチェック表を作り、各自が調査結果を持ち寄ってWSをする。	<b>HUG研修</b> 避難所運営ゲームを毎年開催し、年齢や障害の有無に関わらず参加できるようにする。	<b>身近な人の安全</b> 災害時にどのように避難するのか、一人暮らしの方々の避難や安否確認方法を考える。
<b>防災フェスティバル</b> 家や地域で実践している様々な防災の知恵・アイデアを持ち寄って発表する。	<b>避難所対策</b> 木部地区からの避難者も含め、備蓄倉庫内の備蓄品が十分かを考える。雨水タンクを設置する。	<b>福井地震の学習</b> 福井地震の経験や知恵を語り継いでいくための学習を出前授業などで開催する。

## 4. 交通安全・防犯



<b>通学路チェック①</b> 小学生の登下校時に大人も一緒に歩き、子ども目線で危険箇所をチェックする。	<b>通学路チェック②</b> 中学生の登下校時に大人も一緒に自転車で走り、交通や防犯上の危険箇所を確認する。	<b>危険箇所の募集</b> 住民アンケートや手紙、動画等で広く情報を集め、危険箇所と時間帯を調べて公開する。
<b>踏切注意喚起</b> 各鉄道の踏切で一旦停止・安全確認を怠らない手づくり看板を作成し、ルール順守を促す。	<b>心に訴える看板</b> 「あなたは大丈夫ですか？」という心に響くような手づくり看板を設置する。	<b>解決策の提案</b> 安全・安心のために必要なことをまとめ、関係機関を訪問して対策を求める。
<b>自分達で解決</b> 問題のある箇所のうち、自分達で解決できそうな部分を見つけて実行する。	<b>危険マップWS</b> PTAと子どもたちが中心となり、危険箇所を探してマップを作るワークショップを開催する。	<b>見守り隊のPR</b> 見守り隊の車にステッカーを貼り、声かけ事案の防止に努める。

## 5. 環境

<b>子どもゴミ作戦</b> ゴミのポイ捨て禁止や減量と呼びかけるポスター・チラシを作成し各戸配布する。	<b>ゴミ回収deポイント</b> 毎月1回、カフェコーナーで使えるゴミのポイント交換会を開く。	<b>ゴミ問題の学習</b> まちの環境だけでなく、地球温暖化や海洋汚染につながることを出前講座で学習する。
<b>プラスチックゴミ対策</b> ペットボトルをやめてマイボトルを持ち歩くなど、プラスチックゴミの減量に取り組む。	<b>ゴミの継続調査</b> 10年計画で同じコースのゴミを調査し、対策の効果を調べて記録する。	<b>ゴミ探検の輪</b> 高齢者や障害者の方々と一緒にゴミ探検を行い、交流を通して理解を深める。
<b>野焼き注意</b> 畑や道端などで、危険な野焼きをしないように呼びかける。	<b>ゴミゼロ大関PR</b> ゴミを捨てさせない大関の取り組みをメディアを使って地区内や市、県内外にPRする。	<b>雨水利用</b> 小学校に雨水タンクを設置し、水やりや環境学習、防災用に活用する。



## 6. 子ども



<b>子ども食堂企画</b> 子ども食堂で年に3回くらい子ども運営日を決めて、子どもたちが運営する。	<b>子ども安全隊</b> 通学路と遊び場について子どもが中心に調査隊を作り、危険箇所マップを作成する。	<b>畑と子ども食堂</b> 大人と子どもと一緒に畑で野菜を作り、子ども食堂で地産地消を生かした栄養満点の料理を作る。
<b>子どもゴミ作戦</b> ゴミのポイ捨て禁止や減量と呼びかけるポスター・チラシを作成し、各戸配布する。	<b>子どもカフェ縁日</b> カフェコーナーの一部を子どもと一緒に企画して運営できるしくみを作る。年に1回子ども縁日も！	<b>子ども防災隊</b> 日頃から防災を意識できるポスター・チラシを作成し各戸配布。子ども避難訓練も！
<b>子どもゴミ探検</b> 子どもが中心になって、ゴミ探検の調査や実施方法を考え、大人を巻き込んでいく。	<b>子ども解決隊</b> 安全・安心のために必要なことをまとめ、関係機関を訪問し解決策を提案する。	<b>子どもマイボトル</b> 子どもが中心になって、マイボトルを広げる方法を考え、大人を巻き込んでいく。

# ワークショップのふりかえり

- 大人達といっしょにできて、とてもうれしかったです。ほかのグループの人達も、とてもいい案が出ていて、とてもおもしろかったです。全部できるかはわからないけど、全部したいなと思いました。
- 知らない人といっしょにいて、ともだちになれたかな~と思って、うれしかった。
- いろいろな意見が出て、楽しくみんなとしゃべれた。私が思いつかなかった考えが出て、おもしろかった。
- はっぴょうできたことが、うれしかった。みんな上手にはっぴょうしていたことに、おどろいた。
- いろいろな人と関わったり、しゃべったりするのは、いいなと思いました。

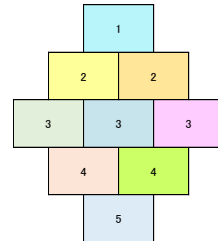
## 子どもの声

- 地域の知らないことがたくさんあって、それを知っていくこと、人と知り合っていくことで、地域が元気に豊かになっていくな~とイメージできました!!
- いろいろと大切なことばかりだと気づかされた。どれも、自分達で考えたものを実現できると、住民の交流ができて、素晴らしいと感じました。
- 子ども達に、今日来た理由を聞いたら、来たかったからと言っていました。ワークショップ中も、がんばっている姿が見られて、子ども達の考えていることがわかっていって、楽しい時間でした。子ども達の企画が実現していきますように……。
- 地域には良い所も悪い所も両方ある。大事なことは、大人も子どもも、高齢者も障害のある人も、さらには外国人も、すべての人がバリアなしに交流できる地域にすることではないか。そうすれば、地域の長所を伸ばし、短所を改めていくことができるのではないだろうか。

## 大人の声



ダイヤモンドランキング



●**ごあいさつ**● 子どもと大人が一緒になって大関の今、そして未来を考えるととても有意義な時間でした。出された意見、アイデアをまとめた「2021大関助け合いのまちづくりプラン」をどうぞ一読下さい。そして、感想やご意見などをいただければ幸いです。このプランをきっかけに、地域の人々、団体が協力して大関のまちづくりを実践してもらえよう努めていきたいと思ひます。

大関まちづくり協議会会長 盛政 隆治

●**メッセージ**● 「2021大関助け合いのまちづくりプラン」のワークショップは、ふるさと「大関」を愛する地域の大人と子どもが大関地区の未来について共に考え、語り合うことができた有意義な時間でした。自身の考えを伝えたり聴いてもらったりすることで地域の人と「つながり」をもてたことは、子どもたちにとってとても貴重な経験になりました。ありがとうございました。

大関小学校校長 林 小百合

●**お礼の言葉**● 2018年に皆様方の協力を得て、「大関助け合いのまちづくりプラン」が策定され、たくさんのプランが実現しました。大関の素晴らしさを発見でき、多くのつながりを感じました。

プラン見直しの本年もワークショップで、多くの方から意見を聞く事ができました。大人と子どもが話し合い、「2021大関助け合いのまちづくりプラン」を策定することができ、皆様に感謝いたします。今後、誰もがプランを実践できるよう、ご協力をお願いします。

大関助け合いのまちづくり推進委員会委員長 虎尾 正子

### ●参加された各種団体、地域の皆さん(順不同)

大関地区区長会	民生委員児童委員、主任児童委員
大関小学校PTA	青少年育成坂井市民会議大関支部
坂井中学校PTA	消防団第14分団
日赤奉仕団坂井分団	防犯隊坂井第2支隊
更生保護女性会	大関地区体育協会
婦人福祉協議会	大関ふくしの会
食生活改善推進員	スマイルネットワークさかい
大関まちづくり協議会	県民せいきょう 坂井きらめき
大関コミュニティセンター	介護老人福祉施設 湯池野
大関小学校校長先生、教頭先生、4・5・6年生、中学生の皆さん	
交通安全協会大関分会	大関よりあい 個人参加の皆さん

### ●協力(ワークショップ企画運営)

アルマス・バイオコスモス研究所、元ぼぼの会ファシリテーター

### ●経過

第1回ワークショップ 2021年6月6日(日) 於 大関小学校  
第2回ワークショップ 2021年6月27日(日) 於 大関小学校  
以上の他、推進委員会、拡大推進委員会などを開催

### ■発行 2021年11月

大関助け合いのまちづくり推進委員会(大関まちづくり協議会内)  
〒919-0541 福井県坂井市坂井町東12-5-1

### ※表紙写真

ワークショッププログラムとして、4作品の中から投票で1作品「虹と大空」を選びました。



■写真提供 伊藤浩 他

■編集協力 アルマス・バイオコスモス研究所

大関コミュニティセンター内  
Tel 0776-72-1957 Fax 0776-72-1935

ohzeki-cc@city.fukui-sakai.lg.jp



2021年6月に2回のワークショップを経て、第二次「大関助け合いのまちづくりプラン」が完成しました。プランを実現していくために、事業を募集します！

## 1 「大関助け合いのまちづくりプラン」を読んでみよう！

小中学生と地区の団体や住民の皆さんとで手づくりしたプランです。福祉、健康、防災、交通安全、環境、子どもなどいろいろな分野があります。



## 2 取り組めるプランを探してみよう！

あなたや所属する団体にピッタリのプランや近くの住民の方々に喜んでもらえるプランがあるかもしれません。子ども達と一緒に取り組めるプランはどうでしょう。このプランをヒントに、いろいろなアイデアを考えてみませんか？



## 3 パートナーを探してみよう！

一緒に取り組める団体や住民の方々がいるかもしれません。一緒に取り組むために、声かけをしてみませんか。



## 4 プランを申請しよう！

取り組んでみたいプランが決まったら、「大関助け合いのまちづくり推進委員会」にご連絡下さい。ご相談も歓迎です。



## 5 いよいよプランの実践です！

プランの実践に向けて準備を始めます。「助け合いのまちづくり」の目的から外れないよう、確認しながら進めることがポイントです。

## 6 最後に、報告とふりかえりをしましょう！

事業が終わったら、「大関助け合いのまちづくり推進委員会」に報告しましょう。活動をふりかえりながら、成果や改善点を確認し、次の活動へと活かしていきましょう。

大関助け合いのまちづくり推進委員会では、子ども達と団体や住民の皆さんが力を合わせてプランを実現していくために、取り組み方の相談や資金的な支援を行っています。お気軽にご相談下さい。

また、申請は、このプランを参考に新しいアイデアを出していただくこともできます。自由な発想で考えてみてくださいね。

※申請書類は、大関コミュニティセンター(Tel0776-72-1957)までご連絡下さればお送りします。

※募集締切 令和5年2月28日(年度途中の申請も可能)

